

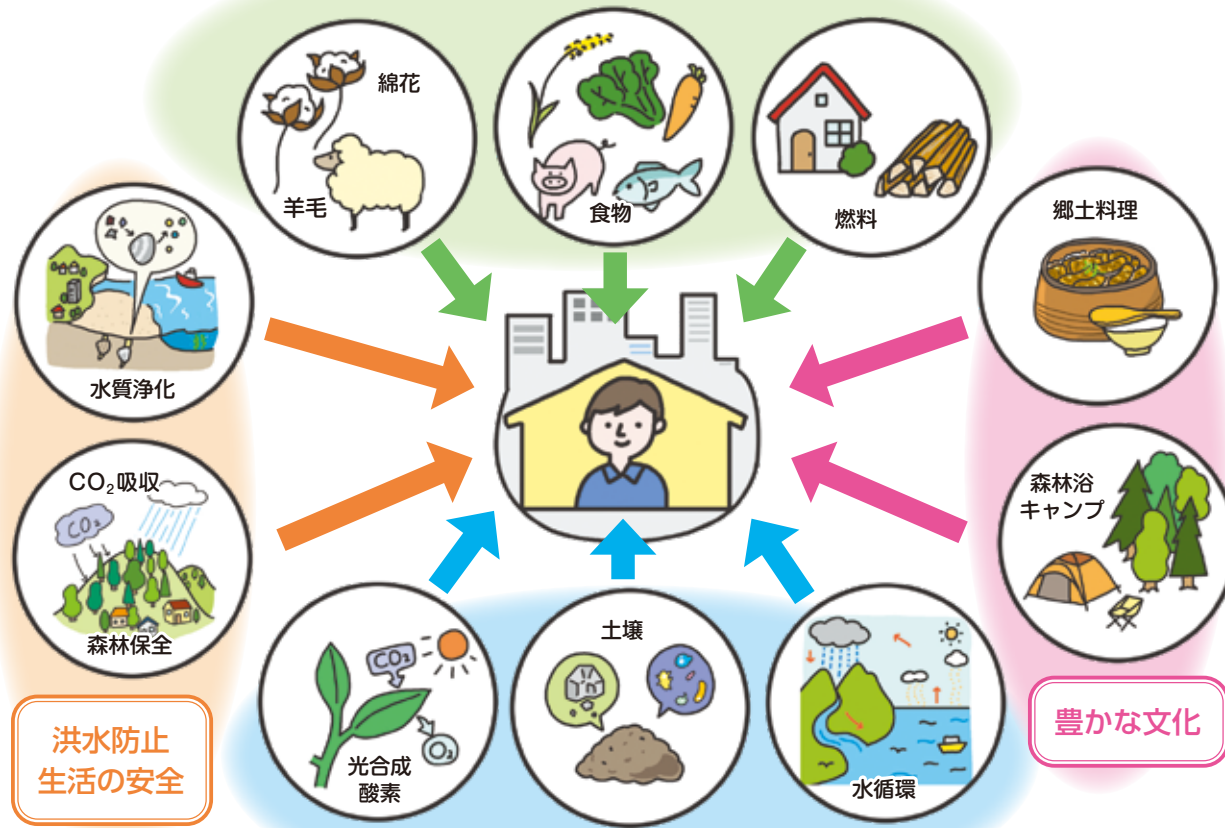


私たちの暮らし × 生物多様性

生物多様性の恵みに支えられる私たちの暮らし

生物多様性とは、多様な生きものが存在し、それらの生きものがお互いにつながりあい、バランスが保たれている状態のことを言います。地球上には様々な自然の中に、長い歴史の中でそれぞれの環境に適応して進化した多様な生きものが存在し、相互につながり、支えあって生きています。私たちの生活は、食料や水の供給、気候の安定など、生物多様性がもたらす様々な恵みによって成り立っています。

生活や事業活動に必要なもの



すべての生命の基盤

コラム

生物多様性と薬

植物は薬の素材として古くから私たちの健康を支えてきました。例えば、インフルエンザの治療薬のタミフルは、中華料理によく用いられる香辛料「ハッカク」から抽出された成分をもとにつくられました。



バイオミミクリー（生物模倣）

生きものの形や動きをヒントに人間に役立つものを作り出す科学技術のことです。私たちの暮らしの中でも様々な生きものの知恵が使われています。

例 ハスの葉

ハスの葉の表面には細かい凹凸があり、水をはじく特徴があります。この構造を人工的に作り出すことで、水や汚れのつきにくい素材となり、ヨーグルトのフタなど様々な用途で活用されています。



水をはじく様子

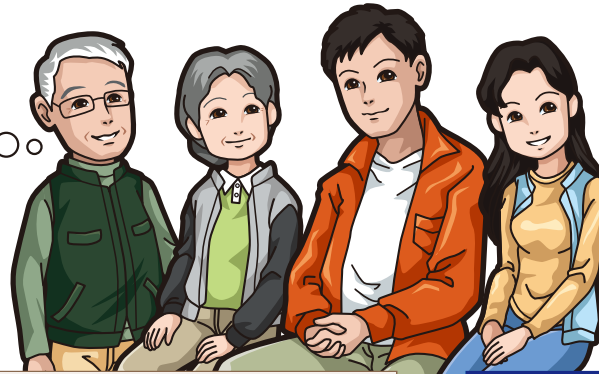


ヨーグルトのフタ

私たちの未来をおびやかす、私たちの行動

1 環境を意識しない生活

商品を安く買いたい・・・
快適に暮らしたい・・・
環境問題や生物多様性って
自分の生活とは関係ない・・・



ぼくたち、私たちの未来は
どうなっちゃうの…??

2 地球環境への影響

私たちの何気ない日常生活によって、
地球環境がおびやかされています。

私たちの豊かな生活は、資源やエネルギーを消費することで成り立っていますが、その裏側では、乱獲や開発による自然の減少、資源やエネルギーの大量消費による地球温暖化など、地球環境に影響を与えており、生物多様性の劣化にもつながっています。



乱獲



開発



地球温暖化

4 私たちへの影響

私たちの生活にも
例えばこんな影響があります。

衣食住への影響

農作物の生産にはミツバチなどの花粉を運ぶ生きものが欠かせません。もしいなくなれば、野菜はもちろん、家畜のエサ不足から肉や乳製品、衣類等の生産にも影響をおよぼします。



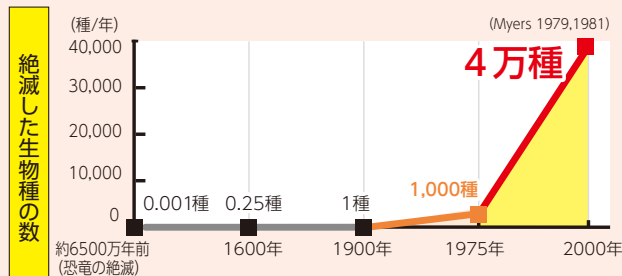
安心・安全な生活への影響

健全な森林には大雨が降った際に土砂が流れ出ることを防ぐ機能があります。開発や手入れ不足などにより森林の生態系（生きもののつながり）が劣化すると土砂災害のリスクが高まります。



3 生物多様性の危機

その結果、いま生物多様性は危機的状況を迎えています。



生きものの絶滅の速度は1900年からの100年間で約4万倍に加速しており、現在では1日に約100種のペースで生きものが絶滅しています。

コラム

突然危機は訪れる

地球上には約3000万種の生きものがつながりあい、私たちの生活や事業活動を支えています。地球を飛行機に例えると、3000万種の生きものは飛行機の部品です。年間4万個もの部品が落下し続けている私たちの飛行機はいつまで飛び続けられるでしょうか。突然その危機は訪れると言われています。



生物多様性のために私たちができること ～合言葉は「ネイチャーポジティブ」!



2022年12月生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）にて生物多様性の新たな世界目標が採択されました。

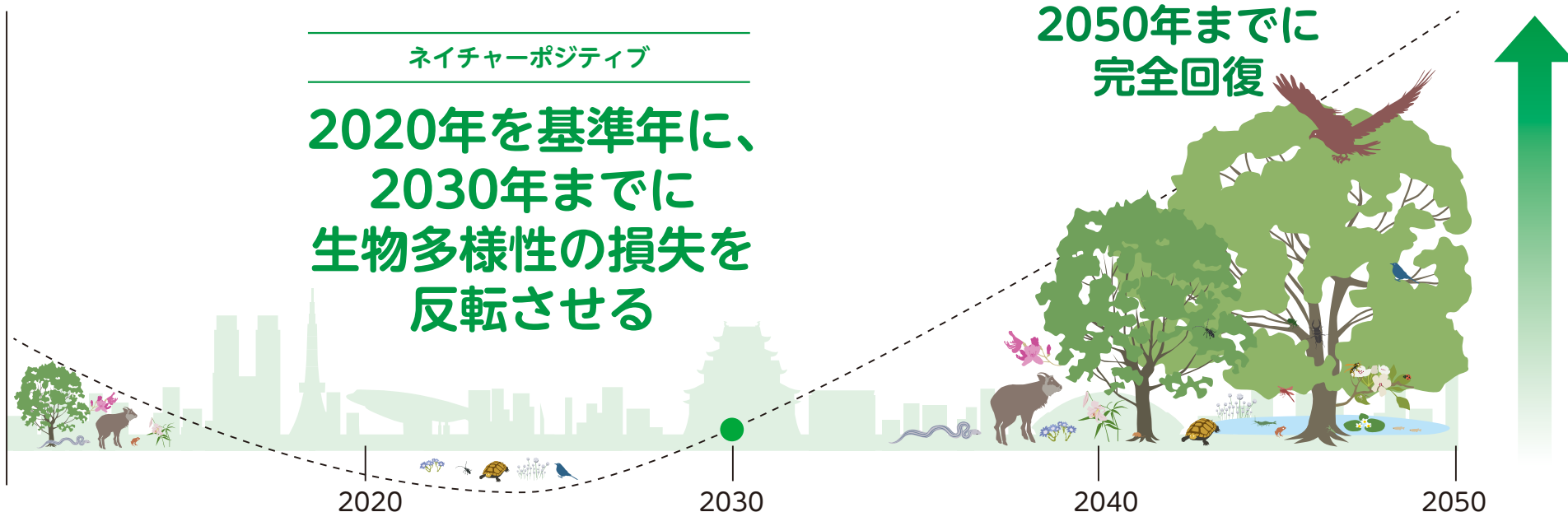
世界目標では、2030年までに生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」という考え方が示され、世界の新たな潮流となっています!

生物多様性の指標

ネイチャーポジティブ

2020年を基準年に、
2030年までに
生物多様性の損失を
反転させる

2050年までに
完全回復



政令市
初!

なごやネイチャーポジティブ宣言

2023年10月に名古屋市長は市民・事業者とともにネイチャーポジティブの実現を目指すことを宣言しました。



なごや
ネイチャー
ポジティブ宣言
について



私たちの未来を守るために、なごやの生物多様性を守り、世界中の自然の恵みを持続可能な方法で利用する一人ひとりの行動「**Positive Action**」が必要です!

生活スタイルの転換

日々の行動で世の中の流れを変える

身近な自然の保全・再生

生物多様性を回復させる

生物多様性のために私たちができること ① 日々の買い物にこだわろう！

現状 私たちの生活は世界の生物多様性に依存し、影響を与えています。



例えば、

丸太の輸入先
第1位は北米

森林が減少

マグロの漁獲高は
日本が世界第2位

マグロの資源量が減少

この現状をポジティブ(Positive)に変えていこう！

Positive Action 地元の食材・旬の食材を選ぼう！

地元の食材や旬の食材を選ぶことで生産や輸送に必要なエネルギーを削減でき、地球環境や生物多様性を守ることにつながります。

○地元の食材を消費することを **「地産地消」**

○旬の食材を消費することを **「旬産旬消」** といいます。



旬の食材は
おいしくて栄養も豊富！

愛知で多く生産される食材の一例

☺ 地元でとれるもの！

農 業

イチジク・キャベツ・トマト など

漁 業

アサリ・シラス・クルマエビ など

旬の食材の一例

☺ 旬のもの！

春

タケノコ・イチゴ・アサリ など

夏

トマト・オクラ・シジミ など

秋

イチジク・サツマイモ など

冬

ダイコン・ホウレンソウ
ハクサイ・ブリ など

Positive Action 環境にやさしい商品を選ぼう！

私たちの消費行動は生物多様性と密接に関わっています。日々の買い物の中で生物多様性などの環境に配慮したラベルを参考にしながら商品を選択することで、世の中の流れや社会のしくみが生物多様性に配慮したものに変わっていきます。

主に水産物に関する認証ラベル



MSC認証



ASC認証

商品例

鮮魚、水産加工品（ちくわ、缶詰など）、冷凍食品など

主に木材や木製品に関する認証ラベル



FSC®認証



SGEC/PEFC森林認証



商品例

ティッシュペーパー、えんぴつ、コピー用紙など

主に有機農畜産物に関する認証ラベル



有機 JAS 認証

商品例

野菜、肉、果物、みそ、チーズなど

フェアトレードに関する認証ラベル



国際フェアトレード認証

商品例

コーヒー、チョコレート、バナナ、コットン製品など

Positive Action マイバックを持参しよう！

海に流れ出たプラスチックごみは、海の生きものの命をおびやかす、生態系に影響を及ぼす恐れがあります。

使い捨てプラスチックごみ削減の第一歩として、マイバックを持参しましょう。



生物多様性のために私たちができること

② 庭やベランダを生きものの楽園に！



現状 なごやの生きもののすみかとなる緑被地は大きく減少しています。

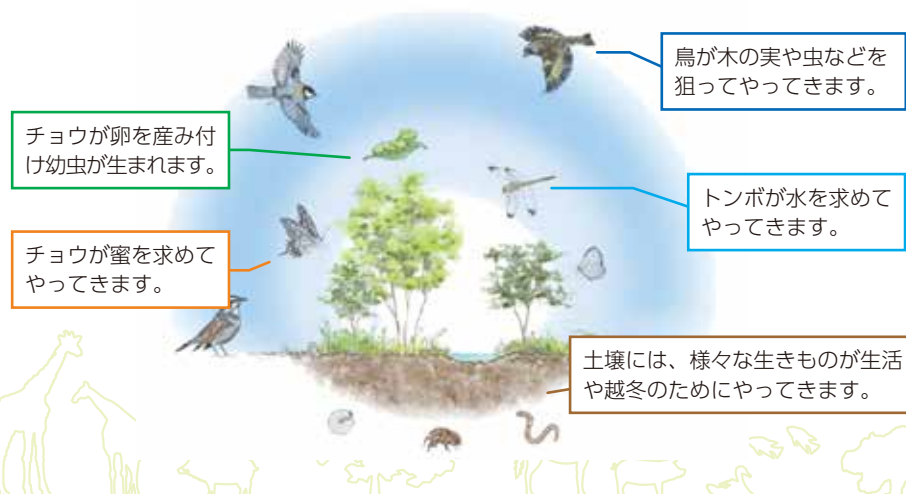


この現状をポジティブ(Positive)に変えていこう！

Positive Action 生物多様性緑化に挑戦しよう！

生物多様性緑化とは生きもののすみか・エサ場・休息場所などに配慮した緑化のことです。

家の庭やベランダなどの小さな自然をつなげることで名古屋市全体の生態系ネットワーク（生きもののつながり）を豊かにしていきましょう！



▶ 生物多様性緑化のポイント

ワンパターンにしない/在来種をとり入れる

様々な種類の植物を植える

ノコンギク
ワレモコウ

コバノミツバ
ツツジ

果樹

ススキ

サンショウ

野菜

ノアザミ

ヤブラン



木の高さ・植える間隔に変化をつける



水辺をつくる



花や実をつける植物を植える



実をついばむジョウビタキ



花の蜜を吸うナミアゲハ

侵略性のある植物を植えない



広がってしまったオオキンケイギョ

生物多様性緑化のことをもっと知りたいときは

なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドラインをご覧ください⇒



生物多様性のために私たちができること

③ 身近な自然を感じよう！



現状 名古屋市でも生きものの絶滅が加速しています。

〈名古屋市版レッドリスト掲載種数〉

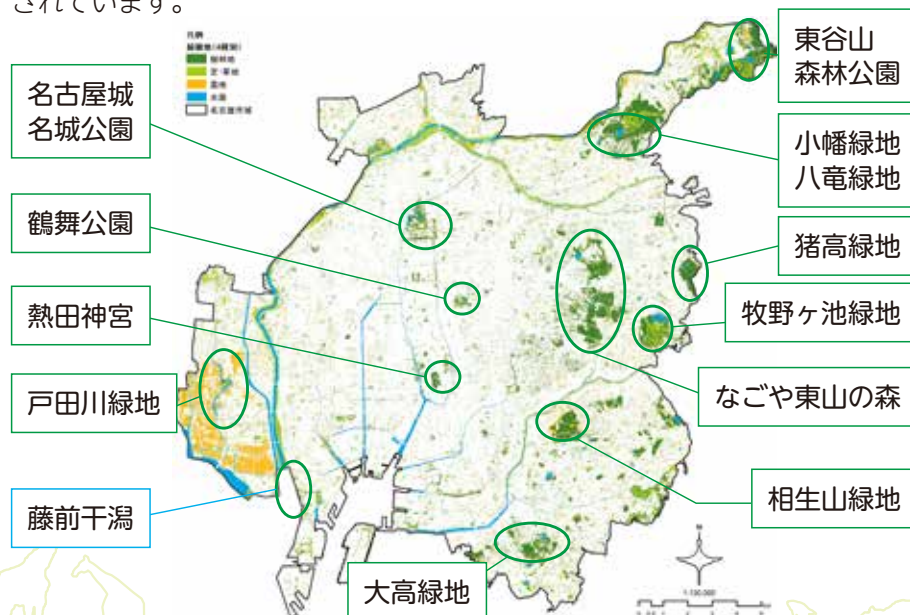
カテゴリー（ランク）	2010年	2015年	2020年
絶滅（EX）	96	101	115
絶滅のおそれのある種（絶滅危惧種）	345	389	413

市内の生きもの
6,697種のうち
約8%が「絶滅」・
「絶滅のおそれのある種」に指定されています。

この現状をポジティブ(Positive)に変えていこう！

Positive Action 自然や生きものにふれてみよう！

自然の中へ出かけたり、動物園や水族館などを訪ねて、自然や生きものにふれてみましょう！都市化が進む名古屋市ですが、貴重な自然もまだまだ残されています。



Positive Action 生きもの探しを楽しもう！

名古屋市では、スマホで撮影した生きものの種類をAIで判別するアプリ「**Biome**」を活用し、市内の身近な生きものを探すオンライン参加型イベント「**なごやいきものクエスト**」を毎年開催しています。



▲「なごやいきものクエスト」開催状況・結果はコチラ



Positive Action 保全活動に参加してみよう！

なごや市民生きもの調査員

名古屋市では市民調査員を募集しています。市民調査員には、調査や講習会のご案内や調査結果等を随時お知らせしています。ぜひ、一緒に活動しましょう！



なごや環境大学

環境活動を始めたい人、広げたい人、学びたい人が、経験・年齢を問わず参加できる場を提供しています。保全活動に関するイベント・講座などを実施しています。



生物多様性のためにできること 4 楽しく学んでみんなでシェア！

Positive Action

なごや生物多様性センターでは、なごやの生きもののことがよくわかる市民参加型のウェブサイトを運営しています。



コンテンツ紹介

なごや生きものマップ

皆様から投稿いただいたなごやの野生動植物の目撃情報がマップに反映され、どこでどんな生きものが目撃されたかがわかります。



\\ その他、生きものクイズや楽しいコラムもあります //



Positive Action

生物多様性を動画で学ぼう！

一見すると難しい生物多様性ですが、動画だと分かりやすく学ぶことができます。



環境省動画
チャンネル



なごや環境大学
動画チャンネル



Positive Action

みんなにつたえよう！

自然や生きものに触れて感じたことを写真や絵でみんなに伝えたり、動画などで知ったことをSNSで共有することで、生物多様性の輪が広がります。



写真を撮る



絵を描く



SNSなどでシェア



生物多様性のためにできること みんなで行動していこう



名古屋市は令和5年10月に
「なごやネイチャーポジティブ宣言」を行いました。

発行・問い合わせ
名古屋市環境局環境企画課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL 052-972-2698 / FAX 052-972-4134
Mail a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



生物多様性に関する市の取り組み

